

代表質問

3月5日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆代表質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が代表質問をしている動画にアクセスできます。



佐々木としたか

(自民党)



東武東上線連続立体化とまちづくりについて問う

【質問】東武鉄道と工事業者の協議内容と6年度のスケジュールについて伺う。

【区長】大山駅付近の連続立体交差事業については、東武鉄道から、受注契約した工事業者との間で、継続して6年度も施工計画の検討などを進めていくと聞いている。

【質問】ハッピーロード大山商店街のアーケードの一部解体の内容と区の間わりは。

【区長】解体は6年4月から始まり、範囲はクロスポイント周辺地区にある約70mの部分であり、屋根や柱の撤去などが予定されている。区としては、今後、工事が安全かつ円滑に進むよう、必要に応じて調整を行っていく。

【質問】大山町ピッコロ・スクエア周辺地区の区有地に對する今後の取組みと課題は。

【区長】商店街振興組合や再開発組合が今後の対応について、店舗側と継続して折衝を行っていく予定と聞いている。区は商店街振興組合に對

を強く求めるが、見解は。
【区長】ハトへの餌やりを原因とした環境悪化の改善には、条例制定をもって臨むことが有効であるとの考えに至り、今後は早期の条例制定をめぐり検討を進めていく。



板橋区地域防災計画の見直し・改定について問う

【質問】避難確保計画の現時点における策定率及び策定された計画の活用内容は。

【区長】6年2月時点の策定率は、95%を超えている。今後は、計画に基づき具体的な避難訓練が着実に実施されるよう、避難確保計画の実効性をさらに高めていく。

【質問】防災情報のDX化推進では、防災情報が区民にすべからく伝わらなければならず、特に要配慮者や障がい者対策も必要である。見解は。

【区長】避難所などの可視化した情報が、高齢者などの要配慮者に伝わるようにするため、様々な手段を確保するなど、取組みを進めていく。

都立城北中央公園と周辺の整備について問う

【質問】公園とその周辺を(仮称)「東京城北未来スポーツ・カルチャーエリア」として検討を進めてほしいと考えますが、整備についての見解は。

【区長】豊かな自然の中で文化や歴史に触れながらスポーツなどを楽しめるよう、地域に潜在する魅力を高め、新たな公園都市の創出に向け、整備を進める。

史跡公園・産業ミュージアム整備について問う

【質問】6年度の事業内容と予算の内訳、今後のスケジュールは。

【教育長】整備計画を策定するとともに、遺構の保存修理工事などを行う予定で、整備事業費は約5300万円となっている。7年度に基本設計、9年度に実施設計、10年度から11年度に工事を行い、グラウンドオープンする予定である。

【質問】史跡公園の整備における、金沢市との連携・協力について、どのような内容の協議が進んでいるか伺う。

【教育長】金沢市の資料館や石川県の博物館と、加賀藩下屋敷の絵図及び当時の記録や古文書の複製・展示に関する協議を継続して行っている。

産業政策について問う

【質問】産業経済部の組織強化と官・民・大の連携による職員の人材育成機関を設けたい。

【区長】官・民による人材育成機関を設置することは難しいが、専門性の高い研修の受講や産業振興公社職員のプロパー化などにより組織強化を図っていく。

【質問】いたばし産業見本市の今後の方向性は。

【区長】区の産業ブランド力を発信していく場と捉えている。区内に集積する製造業の持つ、ものづくりの価値を技術や歴史などの様々な角度からPRしていく。

板橋区政諸般について問う

【質問】都区財政調整制度の配分割合など、都区の課題にどのように取り組んでいくか、決意を伺う。

【区長】都区制度改革の本旨を初志貫徹すべく、特別区長会一丸となって課題の解決に取り組んでいく。

【質問】使用料・手数料などの見直しについて、今後の計画や検討の進め方は。

【区長】現在、現行料金と原価コストの比較のための準備などをしており、今後、改定の方針や改定額などについて議会に報告する予定である。その後、議会の審議を経て、7年4月1日に改定となるスケジュールである。

【質問】ふるさと納税制度について、6年度の返礼品やクラウドファンディングなど、積極的な収入確保の取組みは。

【区長】板橋Cityマラソン出走権などに加え、板橋のいっぴんを返礼品に加える予定である。また、クラウドファンディングを活用し、絵本のまち板橋の普及啓発や機運醸成につながる新たな取組みにもチャレンジしていく。

【質問】郷土資料館・美術館・赤塚植物園などの周辺地域を安心・安全に巡り歩けるよう、環境を整備すべき。

【区長】6年度より改定作業を行う「板橋区観光振興ビジョン2035」では、区内の観光資源の環境整備の考え方を検討する予定である。

6年度に予算化された事業と予算総額は。

【教育長】いたばし地域クラブの拡充や部活動指導員の増員、地域移行シンポジウムの開催の3事業であり、部活動地域移行関連の予算総額は1億1400万円余である。

【質問】赤塚体育館の長寿命化改修工事に併せて、中学校部活動の受け皿になる地域スポーツ団体の活動スペースを検討すべき。

【区長】教育委員会と連携しながら、スペースのあり方について検討していく。

【質問】部活動地域移行について、区民文化部や体育協会、スポーツ推進委員協議会など今後どのような取組みを考えているか。

【教育長】今後は様々な課題のうち、特に指導者の不足に関し、人材の輩出を通じて、引き続き協力を得られることを期待している。

【質問】朝読書の取組み・効果について、5年に行われた朝読書の実施に対するアンケート内容を含め、見解は。

【教育長】登校時間や他の取組みなどにより、時間が取れない学校がある一方で、朝に限らず実施している学校もある。柔軟な取組みや読書時間の確保を促すことで、不読率の改善に努めていく。

【質問】子ども司書の役割と活動内容、関係機関との協議・支援体制について伺う。

いて、区民が等しく気軽に読書に親しめる環境整備を。

【教育長】6年度には2か所において、新たに図書資料の返却ポストを設置予定である。また、来館せずに利用できる電子図書サービスを推進するなど、図書館の圏域から離れた地域における図書館サービスを引き続き検討していく。

【質問】「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の制定から5年目となるが、具体的な取組みは。

【教育長】点字図書やデジタル図書を提供するほか、さわる絵本などを配架し、誰もがサービスを利用できるよう努めている。4年度には音声読み上げ機能がある電子図書を導入しており、引き続きサービス拡充に取り組んでいく。



鈴木こうすけ

(公明党)



防災対策について問う

【質問】福祉避難所の確保に向けた対策は。

【区長】避難所数の増加は、No1実現プラン2025改訂版の実施計画に位置付けており、着実に推進していく。人員不足に対しては、関係事業者に都の制度などを情報提供し、協力を要請する考えである。

【質問】町丁目ごとの特性を考慮したきめ細やかな地区別防災マニュアルの改定が必要と考えるが、見解は。

【区長】前回は、町丁目別の地域危険度測定調査結果などを記載し作成している。今改定でも、きめ細かい資料を提供することで、区民ワークショップでの的確な議論を促し、地域特性に応じたマニュアル作成の支援を行っていく。

【質問】地域防災計画におけるマンションの防災対策について、具体的な施策は。

【区長】都の「東京とどまるマンション」制度を参考に、マンション防災の促進に寄与する「ハードとソフトを連動する制度」について、検討を進めていく予定である。



6年度予算の概要を問う

【質問】事務事業の見直しによる事業の効率化と諸課題に対する積極的な財政投入について、予算の中どのような見直しが行われたのか。

【区長】産後ケア事業の実績に基づき内容を見直し、新たに通所型を事業に加えた。さらに、産後ドゥーラが訪問する「産前産後支援事業」を導入し、切れ目のない子育て支援を充実させた。

【質問】健康福祉センターと子ども家庭総合支援センター

【質問】健康福祉センターと子ども家庭総合支援センター